

東京教区時報

第1188号
2010年12月5日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代禱・信施奉献
▽世界エイズデー(12月1日)▽
聖書の主日(降臨節第2主日
12・5)▽野宿生活者支援のため
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食
活動のため

《奉献先から》

聖書協会の働き

毎年降臨節第2主日は「聖書の日曜日」と定められ、世界の諸教会が一致して、聖書の翻訳ならびに普及・頒布のために祈り支援しています。世界各国に広がる世界聖書協会は、200年以上前に英国で始められたことは良く知られています。日本聖書協会は、新・旧約聖書の発行はもちろん、点字、音声、絵本、マンガ、名画に見るみ言葉、み言葉のしおりの各聖書を刊行し、多くの人々に、み言

葉を届けたいと工夫を重ねています。海外10カ国の聖書協会への支援の継続、発行20周年を経た「新共同訳聖書」の次の翻訳に向けての作業が始まっています。(日本聖書協会理事

司祭 河野裕道

▽祈りの会

く信教の自由を求めて、キリスト者のつながりを「目の丸・君が代」の強制により苦しんでいるすべての人びとを

えて。11日(土)13時半、日本基督教団信濃町教会(2階集会室)。参加費500円。照会: 090(9649)0392・人権委員会(打田)。
▽クリスマス・ファミリオンサート 12日(日)14時、東京聖三一教会聖堂。ソプラノ、弦楽アンサンブル、同教会聖歌隊の演奏。照会: 03(3421)3646・同教会。

今週・来週の予定

12月5日~18日

- | | |
|-------|----------------------|
| 5(日) | 降臨節第2主日 |
| 6(月) | 分担金・特別委員会 |
| 7(火) | 常置委員会 |
| 8(水) | 聖職養成委員会 |
| 9(木) | 信仰と生活委員会:
こども聖歌 |
| 10(金) | 広報委員会
外濠G牧師協議会 |
| 11(土) | バリアフリーのクリスマスパーティ |
| 12(日) | 降臨節第3主日
合同聖儀式 |
| 13(月) | ハラズメント防止委員会 |
| 14(火) | 銀座朝拝音楽委員会
礼拝音楽委員会 |
| 15(水) | 教役者生活委員会
信仰と生活委員会 |
| 16(木) | 人権委員会
貧困問題P委員会 |
| 17(金) | エ都区協働委員会
財政委員会 |
| | 多摩G牧師協議会 |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

私の子ども時代、近所や親戚の中に何かいつも病んでいる人がいた。今になってみればその方たちは身体のみならず、心や霊の病も負っていたように思うが、仕事には就けず将来良くなる見込みもなく、希望を持つていないふうでもなくお世辞にも幸せそうではなかった。困ったことに彼らはしばしば私をつかまえ、人生は苦痛に満ちていると滔々と語った挙げ句、「あなたにはわからない」という言葉で話が打ち切られる。ふーん、そりやそうだけど。でも辛いからって子どもにあたるのはどうなの?と憤慨しているうちに、

《み手のなかで》

気持ちがわかる

司祭 上田 亜樹子

す。もっともこれは「祈り」ではなく、言われつばなしに対して何か言い返したいという要求に過ぎなかった。神さまもさぞご迷惑だったにちがいない。

「気持ちがわかる」ことは、必ずしも相手に喜んでもらうことではないし、期待にこたえることでもない。場合によっては、本人も気がつきたくないような実像をまるごと認知する行為が、本当に「わかる」ことなのかもしれないと思う。それにしても、「わかる」領域とは程遠い現実の自分が、子どもの時のあの祈りのせいで、今も「わかる」努力をさせられているような気がする。四苦八苦しな

「あなたには私の気持ちはわからない」という台詞がだんだんおなかの中でエコーし、「じゃあ、気持ちがわかるようにしてくださいよ」と祈って見たことを思い出

がら祈ったことを連れと言われる方の声を聞きながら。嗚呼、神さまは下心満載で間違ったお祈りさえ、用いられる!

(立教大学チャプレン)

第114(定期)教区会報告

11月20日(土)9時、聖アン
デレ主教座聖堂で廣田勝一管理
主教司式・エルサレム教区スヘ
イル・ダワーニ主教説教による
聖餐式に続いて10時、聖アンデ
レホールで教役者議員46名中36
名、信徒代議員71名中65名、番
外議員の出席で議事開始。廣田
管理主教の開会挨拶に続き、常
置委員会3月以降の主要報告、
教区諸委員会活動計画報告、教
区各幼稚園・保育園09年度事業
報告を承認。続いて議案審議。

日本聖公会東京教区施行規則一
部変更の件、日本聖公会東京教区
施行規則第7章「ハラスメント防
止委員会」関連規定改訂の件、宗
教法人「日本聖公会東京教区」規
則一部変更の件、2012年日本

聖公会宣教協議会東京教区準備

委員会設置の件、2011年度
教区収支予算案承認の件、《建議
案》近隣教区との協働・協力を推
進する件の、全6議案を質疑応答
ののち可決。

その間に笹森常置委員長から
「植田仁太郎主教様感謝募金」
の協力呼びかけ、また障関連の
「メルヘン復興支援事業」終了報
告もされ、全ての議事終了後、廣
田管理主教により退任された前主
教植田仁太郎師父へ全員起立し拍
手をもって感謝表明。主の祈り、
頌栄で定刻に終了した。

信仰と生活委員会報告

(11月17日)

*宣教主事報告。
*各委員会・教会グループ等の

報告。

*冊子『裸足の宣教―日本聖公
会宣教150周年記念礼拝にお
けるカンタベリー大主教説教か
ら学ぶ―』を作成、A5版2千
50部を予定し降誕日に一人一
人に配布できるようにする。

*2011年度「代祷・信施奉
献先」を検討し決定した。

*『こども聖歌集』作成のため
の進捗状況の報告。

*その他

▽聖マーガレット教会クリス
マスコンサート 12日(日)14
時。同教会信徒による演奏会。
演奏Ⅱ秋吉邦子(sp)、坂井美
樹(sp)、小貫岩夫(tn)、平
山晴子(pf)。入場無料(会場
献金)。照会Tel03(3334)
2812・同教会。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】69

「韓国併合100年

和解と平和の旅 参加報告

旅の目的は、ソウル近郊の江
華島教会の手すり復興の式典へ
の参加。日本による朝鮮半島占
領時代、軍備用にとあらゆる
る金属物品が抛出させられ、江
華島教会の金属製の手すり、鐘
も抛出させられた。韓国併合1
00年を経ても、教会入口への
急な階段の手すりは無のままに
なっていた。今回、その手すり
を日本聖公会が和解と平和の証
しとして復元するという。

式典には、地元著名人や、マ
スコミ、他国からも来賓が訪
れ、想像を超える重大な式典な
のだと気付かされた。

黙って涙を拭く日本人の参加
者、その手を握る韓国人の出席
者。その場に参加していた多く
の方々から思いが溢れ、混じり
合い、不思議な一体感が感じら
れた。一方私は、式典が行われ
ている礼拝堂の会衆席のほぼ中
央にいながら、自分がこの場に
いても良いのだろうか、という
思いに襲われた。歴史的な、特
別な雰囲気の中で、自分は浮い
ているように思われた。

最終日、空港に向かう途中、
マイク越しに韓国人のガイドさ
んが言った。「日本の皆さん、
過去を振り返って謝ってばかりも
だめです。韓国も日本もバック
ミラーをみて、前に進まないとい
」。そうか、式典での居心地
の悪さ、それはこのせいだった

のだ。謝るところか、私は過去
を振り返ることすらしていなか
った。

式典の前日に訪れた、日本によ
る侵略の過程、独立運動の資料な
どが展示されている独立記念館に
は、子どもからデート中のカップ
ル、そしてご老人まで、あらゆる
世代が来場していた。

市内見学のバス移動中、突然バ
スが止まった。避難訓練との事。
テレビも含め、国中が訓練にな
る。今も朝鮮半島は「休戦」中
で、徴兵もある。

帰国後間もなく、北朝鮮による
砲撃のニュース。戦争経験の無い
30歳の私も、歴史の一員として無
関係ではないのだ。

東京聖マルチン教会信徒

太田信三